

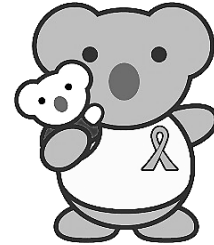
にこで



～和手～

2017年冬号 南区地域子育て支援拠点 はぐはぐの樹 発行

皆さんご存知の通り、11月は児童虐待防止推進月間です。心を締め付けられるような痛ましいニュースを耳にするたびに、このような犠牲を出さないために何が出来るだろうかと多くの方々が心を砕いていると思います。温かい声掛け、見守り、サポートの輪をさらに広げていきましょう！



←横浜市子ども虐待防止のシンボルキャラクター「オレンジリボン」をつけています。

子育てパートナーの 南区の子育て支援活動紹介

大岡地区子育てサロン ほっぺ (中里)

10月12日、地域子育てサロン「ほっぺ中里」を訪問しました。サロンのある大岡地区は南区内でも新生児の人口が多い地域です。また、新しいマンションが増えていることもあり、最近転入してきましたという方とお会いすることも多く、ほっぺは、地域の様子がよく分からない親子にとって、地域の方と知り合え情報を得られる貴重な居場所になっています。この日も、たくさんのスタッフさんが子ども達を見守ってくれて、お母さん同士、楽しく会話を弾ませていました。



モダンな外観デザインが素敵な中里町友会館。入口にはスロープも付いています。

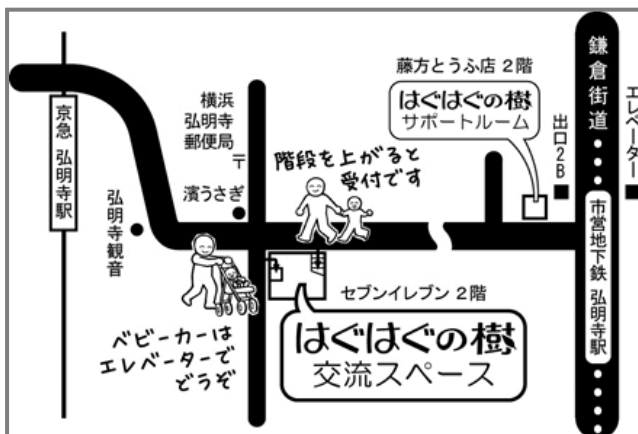
会場の中里町友会館は2015年に建てられた木造2階建てで、とてもきれい！天井が高く廊下も広くて、木のぬくもりに包まれながら親子でゆったり過ごせる会場です。災害時の備蓄品を屋根裏に効率的に保管できるよう設計上の工夫がされていて、いざという時に心強い場所でもあります。サロンに参加することが地域の防災対策を知ることにもつながりそうです。



ほっぺのシンボル。いつも会場に飾られています。

毎月、お誕生児をハッピーバースデーの歌をうたってお祝いしています。サロンは1歳未満のお子さんと保護者が対象なので、1歳のお祝いはサロン卒業の時でもあり、これからの健やかな成長をいのる心のこもったプレゼントが贈られます。また、ほっぺにはオリジナルソングがあり、サロン終了時にみんなで歌います。歌の最後の「ほっぺでね〜♪」というフレーズが私は大好きです。

(横浜子育てパートナー 市来)



年4回発行しています。ご意見や感想をお寄せください。また、はぐはぐの樹ホームページにバックナンバーを掲載しています。

「にこで～和手～」第23号
【発行】

南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹 (サポートルーム)
〒232-0056 南区通町4-115 アイルイン弘明寺2階
TEL:720-3655 FAX:715-3815
MAIL: info@haghagnoki.jp

皆さんの活動にお役立てください！ **はぐはぐの樹**

“貸し出し”いろいろ



「星釣り」魚釣りの要領で遊びます。
セタやクリスマスにピッタリ！



パネルシアター「みんなの広場」。
演じ方のレクチャーもできます。

はぐはぐの樹では、「南区子育てもっとネット」参加団体と「南区子育てサークル」今年度登録サークル等を対象に下表のような貸し出しを行っています。費用はかかりません。ぜひお気軽にご活用ください！

種類	期間・数	内容	利用方法など
絵本 書籍 紙芝居	2週間 1回 5冊 まで	乳幼児の読み聞かせに適した絵本・紙芝居の他、支援者向けの書籍もあります。	★はぐはぐの樹交流スペース開館中(火曜～土曜 9時30分～4時、祝日・ハッピーマンデーの翌日、年末年始は休み)に直接お越しください。 ★貸し出しノートにお名前・連絡先・所属などを記入してください。 ★予約・取り置きはできません。
布おもちゃ シアター 一類	2週間 1回 3点 まで	的当て・魚釣り等の布おもちゃとエプロン・パネルのシアターがあります。	★貸出希望日の2か月前以降、はぐはぐの樹交流スペース(715-3728)に電話して予約し、その後、品物を取りに来てください。 ★貸し出しノートにお名前・連絡先・所属などを記入してください。 ★希望が重なったときは日程や貸出期間を調整します。
研修室	1回 2時間程度	★はぐはぐの樹サポートルーム内にあり、子育て支援に関するミーティングや作業に利用できます。 ★広さは9畳程度で、12人位までの利用が可能です。 ★親子で行う催しには利用できません。 ★非営利の子育て支援活動に関するものに限り、用紙を持ち込みすれば印刷できます。必ず事前にサポートルームにご相談ください。	★利用希望日の3か月前から、はぐはぐの樹サポートルーム(720-3655)に電話で予約できます。

はぐはぐの樹ホームページの「子育てを応援する皆さんへ」の中に写真付きの「貸し出しおもちゃリスト」がありますので、ぜひご覧ください！

感染症予防は正しい知識から！

横浜市感染症情報センター



「感染症に気をつけよう」
— 4か国語多言語版 —

朝夕は肌寒くなり、空気も乾燥し始めて、いよいよ冬の感染症を心配する時期になってきました。横浜市衛生研究所では、毎月上旬に「感染症に気をつけよう」を発行して、タイムリーに流行状況や予防法を発信しています。皆さんの支援場所での対策にぜひ参考にしてください！

感染症	流行状況	説明
腸管出血性大腸菌感染症	多発	報告が多い状態が続いています。例年、気温が高い10月頃まで、多く発生します。【17.9号】
手足口病	増加	7月中旬に、夏期レベルの流行になりました。また報告が多く、警戒は解除されていません。

多言語での子育て情報

南区は在住外国人が横浜市で3番目に多い区です。文化や生活習慣が違う中での子育て「なにか応援できないかな?」と思っている方は少なくないと思います。そこで、公益財団法人かながわ国際交流財団が開設している「外国人住民のための子育て支援サイト」をご紹介します。

サイトには様々な情報ツールが掲載されていて、そのひとつが「子育てチャート」。妊娠・出産から小学校入学まで、必要な手続きと利用できる支援が一覧できるようになっていて、英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・タガログ語・ベトナム語の6か国語があります。

他にも、保育園の入園準備や医療機関を受診する際のコミュニケーションに役立つものも掲載されていますので、ぜひ一度アクセスしてみてください！

外国人住民のための子育て支援サイト (財団法人かながわ国際交流財団)